



観光果樹園のバリアフリー化もすすんでいます。



佐藤真矢さんは、「その場で聞かないと分からないソフトの情報こそが大切だと実感している」と話します。



「センターの存在を多くの人に知ってもらいたい」と菅野祐太さん。ヘルパー2級他、福祉分野の有資格者です。

「車いすの私とベビーカーの赤ちゃんは視線が近いんですよ」と今井伸枝理事(左)。佐藤由香利センター長も「私自身、身体が不自由だからこそ気づいて、仕事に活かせるのはうれしい」と話します。



センターで主に現地調査に関わっているのは、菅野祐太さんと佐藤真矢さんの二人です。菅野さんが心がけているのは、車いす利用者に限らず「ほかの障がいがあった場合にはどうだろう」という視点をもつこと。また率直な自分の感想も大切にしながら、「ちょっと出かけてみようかな」という気持ちを後押しする臨場感のあるブログ(※)を更新し続けています。

真矢さんは、「目で見るだけでなく必ずその施設の方から話を聞くようにしている」とのこと。例えば、段差があっても事前に連絡をすればスロープを出してもらったり、スタッフが手を貸してくれるなど、「おもてなしの心」という心のバリアフリーで施設や設備を補うことができる。

モニターツアーにボランティアで参加した齋藤史博さんは「観光地としてあまり知られていないところまで



「これまで個人での旅行は難しかったけれども、暖かくなったら、センターを利用して旅行してみたい」と加藤紗織さん。

昨年11月には、「センターで待っているだけではなく、こちらからニーズを見つけていこう」と「第1回モニターツアー」を実施しました。

JR福島駅出発、飯坂の旧家・堀切邸を訪ね、果樹園でりんご狩りなどを楽しむ日帰りのツアーに15人が参加。その一人、加藤紗織さんにお話をうかがいました。「堀切邸には前から興味があったので、参加しました。手湯があつて、いろんな人が楽しめるようになってるのが良かった。介助があれば個人でも旅行はできますが、実際に行けるかどうか、確かめるのが大変です。事前に調べたり、相談できる窓口の存在は、とてもありがたいですね」と加藤さん。

モニターツアーから見たこと

とを実感しているからです。

今井さんは「宿泊施設などの受け入れ側で、障がいや病気をもち方に、どう対応すればいいのか迷ってしまうこともあると思います。そんな時には、センターと一緒に解決していけることもできると、広く知ってもらいたい」とも話してくれました。

「これからの季節に賑わう花見山に限らず、私たちが当たり前に受け止めていることも、高齢だったり障がいがある外出が難しい方や他の地域に住む方から見れば魅力的なことが多いんですよ」と理事の今井伸枝さん。普段の生活から一歩踏みだす「旅」は、どんな人にとっても、人生を豊かに彩ってくれる貴重な体験に違いありません。

受け入れ側の戸惑いにも応えます



齋藤史博さんは、センターの監事で一級建築士。ボランティアで「建築の基準が、実際どう使われているのか勉強になりました」。

も、出かければ必ず楽しみは見つかる」と感じたそうです。「初めての場所で、初めて出会う人がいれば必ずいい刺激が生まれます。気軽に出ていける仕組みとサポート体制が必要なんです。」

身体の状態にあわせた “安心で、楽しい旅” をご案内

～ふくしまバリアフリーツアーセンター～



だれもが気軽に利用できる雰囲気の良い窓口。観光案内所と連携し、安心で楽しい旅の情報を発信します。

みんなで育てる地域福祉



取材協力

NPO法人 ふくしまバリアフリーツアーセンター

〒960-8031 福島市栄町1-1
(福島駅西口2F福島市観光物産協会内)
TEL (024)531-7382

「その気になれば、旅には行けるものです」

「高齢で足腰が弱いから、車いすでは行けないから」と旅行をあきらめてしまつた人が少なくありませんが、行く気になれば、けっこういろいろなところに行けるものです」と話すのは、センター理事長の佐藤孝浩さん。車いすで国内外の旅を楽しんできた佐藤さんに、「誰でも安心して快適に旅行ができる環境を提供したい」と考えてきた十湯と飯坂の両旅館協同組合などが協力を呼びかけ、障がい者団体、観光関係者、建築家などが加わって立ち上げたNPO法人が、この「ふくしまバリアフリーツアーセンター」です。



理事長の佐藤孝浩さんは、障がい者や高齢者の旅をコーディネートするボランティア団体の代表も務めています。

主な事業は、福島市、二本松市、相馬市、伊達市で構成している「ふく

臨場感あふれるブログを更新中

「窓口に行らっしゃるのは、一般の観光客の方が多いです。障がいのある方からいただくお問い合わせは、電話が多いですね」とセンター長の佐藤由香利さん。「高齢の方や小さな子ども連れの方にも、バリアフリー、そしてトイレなどの情報は役立ててもらえます。旅行する方の状態にあわせたご案内を心がけています」と話します。



JR福島駅西口のすぐ隣にあります。

「しま観光圏」を中心とした観光施設や宿泊施設などのバリアフリー調査と情報の発信。情報満載のホームページのほか、JR福島駅西口2階、新幹線改札近くにある観光案内所に窓口を設けています。